

南仏治安情報(2010年9月)

■プロヴァンス地方

1. 金の装飾品を狙った引ったくりが頻発

マルセイユ市では1日に20~30件の盗難被害届が出されていますが、最近では金のネックレスの引ったくりがその内の80%を占めるようになってきました。これは金の価格の高騰や、インターネットで身分証明書の提示なしで簡単に現金化できるサイトが増えていることを受けています。犯人は未成年も多く、また現行犯逮捕は難しいですが、即座に被害届を出すことが犯人追跡の手がかりとなります。もし被害に遭った場合は迷わず警察へ届け出るようにしてください。

2. マルセイユ市中心部の引ったくり、1日に平均10件

マルセイユ市中心部で1日に起こる引ったくりは平均10件と、前年に比べ15%の増加傾向にあります。特に6区の県庁付近、5区 Camas 地区で暴力を伴う引ったくりが多く起こっています。警察は30%増員でパトロールをしていますが、犯人の3分の2は未成年ですぐに釈放されることが多いようです。装飾品、カバンなど所持品には十分ご注意ください。

3. 武器を伴う強盗事件が頻発

9月にはマルセイユ市、Aubagne 市、Aix-en-Provence 市などで地方紙が報じるものだけでも23件の強盗事件が起こりました。被害はタバコ屋が9件、宝石店が4件と繰り返し狙われています。中には2人組の男が警察官を装って店内に侵入し、武器で脅迫し売上金などを盗む事件もありました。

4. マルセイユ市8区での破壊行動

マルセイユ市内でも比較的治安の良い8区ですが、ここ3ヶ月 Sainte Anne 地区で道路標識やごみコンテナなどが破壊されたり、車両への放火、スクーターの盗難などが相次いでいます。犯行は15歳から17歳の少年5人グループによるものと見られていますが、現行犯逮捕が難しく依然証拠が掴めていません。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. ニース旧市街での犯罪が減少傾向に

9月上旬に発表された犯罪統計によると、ニース旧市街では2009年同時期に比べ25.3%も減少していることがわかりました。観光客も被害に遭いやすい引ったくりは16.3%、夜間に多く発生する暴力事件は22.6%減少しています。これは自治体警察と国家警察が連携して取締りを行ったことや旧市街内の監視カメラの増強による成果と見られています。

2. 弱者を狙った引ったくり

9月にはニース市、Cagnes sur Mer 市、Saint-Tropez 市などで、女性や80歳代の高齢者を狙った凶悪な引ったくりが7件報じられました。犯人は1人もしくは2人組で、被害者の宝飾品やカバン、財布などが盗まれています。スクーターで引ったくるだけでなく、背後から突然襲ったり地面に突き飛ばすなど暴力を加えて犯行に及んでいます。ご注意ください。

3. 夜間の泥酔した通り魔に注意

8月31日深夜ニース旧市街で女性が2人組の男に殴る蹴るなどの暴行を加えられ、自宅へ逃げ帰る際に Garibaldi 広場で再び同じ犯人と出くわし被害に遭う事件がありました。また9月12日深夜にもニース市 France 通りにて、泥酔した21歳男により4人の通行人が無差別の暴力を受け、逃げ込んだバーの中まで追い詰められ殴られる事件もありました。夜間の外出の際は改めてご注意ください。

4. コルシカ島でのグループ間抗争

9月4日に Sartène 市で朝市場の最中に、覆面・武装した男2人組が49歳男性に向かって発砲し、男性も持っていた銃で反撃したため、2人組の内1人が死亡、付近に居合わせた市場の出店者が流れ弾に当たり負傷する事件が起きました。また6日には Porto-Vecchio の路上で2人組が運転中の53歳男性を狙撃し男性が死亡する事件も起きました。いずれもグループ間抗争によるものですが、流れ弾で一般市民が負傷する恐れがあります。ご注意ください。

■ミディ・ピレネー地方

1. 2009年の犯罪統計

9月に入りフランスの2009年の犯罪統計が発表され、全国で1.4%の減少傾向にある中、ミディ・ピレネー地方は0.37%と僅かに増加していることが明らかになりました。暴力行為、麻薬取引、空き巣狙いなどは大都市が主ですが、徐々に郊外の都市にも広がりを見せています。Haute-Garonne 県では特に引ったくり、空き巣狙い、強盗事件が増加しているようです。

2. Hérault 県、夏期のパトロール強化の成果

2010年夏期にはモンペリエ市及び郊外で、憲兵と警察が提携してパトロール強化を行ったため、Carnon-Plage で15～16歳の青少年を中心に麻薬所持65件、刀剣などの武器所持15件の取り調べがあり、車上荒らしは昨年同時期の90件から64件へと減少しました。当地方で特に多い空き巣被害に対しても、50人近くが現行犯などで逮捕されています。

3. 空き巣狙いへの取り締まり強化

2010年7月～9月上旬の間に、トゥールーズ市および郊外で約200件の空き巣被害が起きていますが、警察の空き巣対策班による取り締まり強化の結果、24人が逮捕され85件が解決しています。犯行の多くはプロの空き巣犯によるもので、8月末に逮捕された27歳男は少なくとも30件への関与を認めており、自宅からは多くの武器や盗品が押収されました。

4. ヘロイン取引が再び増加傾向に

9月には地方紙が報じたものだけでもトゥールーズ市及び郊外で22件、モンペリエ市及び郊外で11件の麻薬所持者・取引者の逮捕がありました。押収されたのはコカイン・大麻がほとんどでしたが、近年はヘロインの取引が増加傾向にあるようです。常習性が非常に高い麻薬ですが、取引のしやすさから服用者が増え、特に青少年に中毒者が増えています。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。